

2

国際理解を深める教育

第3期プラン 1-(1)-イ

1

「生きる力を育む教育の推進」

グローバル化が進む社会において、将来、児童生徒が活躍できるよう、豊かな語学力やコミュニケーション能力、主体性や創造性、チャレンジ精神等をもって、自己を表現し、行動できる能力や態度を育成する。

また、異なる文化や価値観を理解し、国際社会の平和や発展に貢献する態度を育成するとともに、国際社会で主体的に生きるため、児童生徒のアイデンティティの確立を図る。

令和4年度 重点実践事項

- 英語によるコミュニケーション能力の育成
- ICTを活用した文化交流や共同研究等、国際交流活動の実施

実践目標

1

英語をはじめとする
外国語教育を充実する

実践目標

2

国際理解教育を推進する



重点! ①コミュニケーション能力の育成 **小中高特**

国や文化の異なる人々と主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するため、発達段階に応じて、外国語指導助手(ALT)や地域の外国人等との外国語を用いたふれあいや対話、討論の機会を充実する。

②英語の実践的な運用能力の育成 **中高特**

「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つの技能をバランスよく総合的に育成するため、兵庫版基本CAN-DOリストや学校が独自に作成したCAN-DOリスト、ICT等を積極的に活用する。また、語彙の定着を図るため、「兵庫版中学生のための英単語集」を活用する。

中学校・高等学校における、英語の授業は英語で行うことを基本とし、英語の授業の充実を図る。

③様々な場面での英語を使った活動の充実 **小中高**

外国語以外の教科や総合的な学習(探究)の時間等において英語による授業や英語を使った活動を行ったり、特別活動においてイングリッシュキャンプ等を実施したりするなど、様々な場面で英語による活動を積極的に取り入れる。また、小学校では、英語教育の充実に向け、指導用映像資料を活用した校内研修の実施や地域人材の活用等を図る。



ALTとの外国語を用いた対話
(西脇市立桜丘小学校)

①国際的視野の涵養 **小中高**

自己の確立をめざし、国際的視野に立って主体的に行動できる態度・能力を育成するため、各教科や特別活動等、全ての教育活動を通じて、単に知識の理解にとどめることなく、体験的な学習やSDGs等に関する課題学習を取り入れる。



重点! ②国際交流活動の推進 **小中高**

友好・姉妹州省等海外の学校や国内の外国人学校との相互訪問及びICTの活用により、国際交流に積極的に取り組む。また、歴史的な経緯を踏まえ、アジアの人々との友好関係を深める取組を進める。

③海外留学の促進 **高**

将来、国際社会で活躍・貢献する意欲・態度等を育成するため、留学フェアの開催や学校による海外研修旅行を実施する。

④日本の歴史・文化に関する学習の充実 **小中高特**

グローバルな視点から日本の歴史や文化を学ぶ機会を充実し、児童生徒のアイデンティティの確立を図る。

また、海外研修旅行の前に日本の文化に関する学習会を実施し、日本や郷土の伝統と文化について理解し、表現する能力を養う。

⑤国旗・国歌に関する指導 **小中高特**

機会あるごとに国旗を掲揚し、国歌を斉唱するとともに、外国の国旗や国歌に対しても敬意を払うよう指導する。

関係資料

※関係資料一覧より一部抜粋
※一覧はP67のQRコードから閲覧可

- 兵庫版中学生のための英単語集(第2版)
～はばたけ世界へ!『はば単2,500』～ (R2 県教委)
- 英語教育の充実にむけて(英語教育改善プラン研究のまとめ)
(R2 県教委)
- 小学校外国語教育指導用映像資料 (H30 県教委)

施策解説P.62